

児童養護施設で生活している 子ども達の親に対する支援

The Philippines フィリピン

氏名 Ena Marie Monter エナ（34期）

所属団体 バハイ・トゥルヤン



私たちの財団の児童養護施設の入所理由は、両親からの虐待・ネグレクト、経済的要因等さまざまです。子どもの人生において、家族との関係は非常に重要であると考えています。家族の再構築支援について、児童養護施設入所中からより丁寧に取り組むためのプロジェクトを実施しました。

所属組織の概要

子どもの権利を守る社会をつくることを使命に、子どもに対する虐待や暴力の防止に取り組んでいます。また、児童養護施設を運営しており、家庭で生活できない子どもたちを受け入れています。私たちの組織の主な活動目的は「ストリートチルドレンへの支援」、「若者の自立支援」、「家族支援」、「子どもの権利教育」です。その目的にもとづき、児童養護施設に入所している子どもの精神的なケア、子どもの自立をめざしたキャリアサポートなど、11個のプログラムを運営しています。子ども達の成長を支えるため、地域との協力関係構築にも取り組んでいます。

事業の目的

本プロジェクトの目的は、以下のとおりです。

- 児童養護施設入所児の親に対し、子どもの権利について伝え、それを守るための方法をとるに考えることで児童虐待や家庭崩壊を防止する。
- 上記の取組を通じ、子どもの精神的なケアを行うとともに、退所後に安心して生活できる環境をつくる。

活動地域

ケソン・ラグナ・マラテ

対象者

ケソン・ラグナ・マラテの児童養護施設で生活している子ども達の保護者



事業の成果

参加者は主に私たちの財団が運営する児童養護施設入所児の親です。「子どもの権利を学ぶ」、「子どもと良好なコミュニケーションをとるための工夫」など、全部で3回のセミナーを開催しました。講義は児童の発達と発達段階に応じた適切な関わりに焦点をあて、実践的な子育てのアドバイスも盛り込んだ内容にしました。

参加者から、「子どもに対して傷つける言葉を使わずに子どもとコミュニケーションをとる方法など、子どもとの関係性を構築するうえで必要な気づきを得た。価値のある学びだった」と感想が寄せられました。子どもの権利を学び、親が自分の子育てを冷静に振り返る機会を作れたことが一番の成果だったと考えます。さまざまな事情があって子どもとともに生活できない親が、子育てに関する知識とスキルを学び、親子関係を再構築していくための重要な基盤づくりができました。



実施内容

2024年11月9日～2月15日までに3回のセミナーを開催しました。

●「子どもの権利」を学ぶセミナーの開催●

初回の参加者は14名でした。

参加者には事前にテストを受けてもらいましたが、子どもの権利についてわずかな知識しか持っていませんでした。そこで、セミナーは「子どもの権利条約」について主要条項について学ぶ講義からスタートしました。講義後はグループディスカッションを行い、「子どもの権利を最優先に考え、責任をもって養育する」ことについて、参加者が自分の子育てを振り返りながらともに学びました。

●「肯定的な子育て方法」を学ぶセミナーの開催●

第2回セミナーには、15名が参加しました。

まず「肯定的な子育てをするために必要な関わり方」を考えるワークを行い、「子どもに愛情を伝えるための前向きな声かけを書き出す」というテーマを出しましたが、参加者の多くが苦戦していました。講師から、いくつか肯定的な声掛けの例を出したり、参加者の思いに寄り添いながらアドバイスする時間を講義のなかに入れ、参加者が子どもと関わる場面をイメージしながら学ぶことに注力しました。

また自分の子育てを振り返り、「改善の余地がどこにあるか」を考えるというテーマを取り上げました。子育ての工夫を事例としてショートムービーで紹介し、参加者がディスカッションを行うことで、新たな気づきを共有しました。

●「子どもとの良好なコミュニケーション」を学ぶセミナーの開催●

第3回セミナーは9名が参加しました。

子どもの発達段階に応じた感情の変化や社会的な成長に焦点をあてました。参加者には、子どもへの声掛けが常に「脅し」のようになっていたり、日常的なコミュニケーションの取り方がイメージできていなかったり、さまざまな課題がありました。そこで、具体的な場面を取り上げながら、親子のコミュニケーションのとり方、けんかをした時の解決方法などをともに考え、子どもに対して愛情を伝え、信頼関係をつくる方法を学びました。



セミナーでは、参加者が主体的に参加するワークショップや具体的場면을提示したケース検討等を取り入れました。



参加者は、講義等からの知識とともに、グループ討議を通じた新たな気づきを得ることができました。

今後の展望

家庭内虐待が増加しており、社会問題として解決に取り組むことが必要だと考えています。児童養護施設入所中のケアだけではなく、家族の再構築支援に力を入れていきたいです。また、これらの取組は、良好な親子関係を築くことにつながると、参加者から評価されました。今後は、参加対象者の範囲を広げ、地域に住む多くの家庭にも参加いただくことができるように取り組んでいきたいです。

収支報告

〈収入〉

項 目	金額 (円)	内 訳
全社協からの助成金	290,000	
合 計	290,000	

〈支出〉

項 目	金額 (円)	内 訳
第1回セミナー開催	41,000	食費14,000円 / 交通費7,000円 会場賃借料5,000円 / 資料費15,000円
第2回セミナー開催	43,500	食費15,000円 / 交通費7,500円 会場賃借料5,000円 / 資料費9,000円 動画作成7,000円
第3回セミナー開催	25,500	食費9,000円 / 交通費4,500円 会場賃借料5,000円 / 資料費7,000円
参加者への経済支援	180,000	
合 計	290,000	

注) フィリピン (PHP) で提出された報告をもとに日本円に換算して表記
換算レート: 1 ペソ≒2.6円 (2024年5月15日の為替レート)